



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで問いに答えなさい。  
解答欄が足りない場合は、裏面に記すこと。

2021年2月12日朝刊中部版



句碑の完成を喜ぶ関係者＝静岡市清水区興津本町

## 正岡子規の句碑建立

清水区・清見瀉公園

「月の秋 興津の借家 尋ねけり」

正岡子規が詠んだ句「月の秋 興津の借家 尋ねけり」の句碑が、静岡市清水区興津本町の清見瀉公園内に建立された。地域住民でつくる正岡子規の句碑を建てる会（高山茂宏代表）が11日、完成式典を開き、お披露目した。「月の秋」の句は1900年に結核で病床にあった正岡子規が同じ歌人の伊藤左千夫

からの薦めもあり、温やかな興津での療養を望んだ思いを詠んだとき、病院の一室を借りて静養しようとしたが、事情があつて願ひはかなわず、34歳で亡くなった。

園内にはもともと句碑が別にあつたが、木製で、風化や汚れで読みに取りにくくなつていたので、そこで高山会長らが会を発足させ、地域の住民や企業から善意を集めて石碑へと造り

直した。式典には関係者が出席し、完成を喜び合った。高山代表は「前の句碑の近くに植えられている野菊もここに移植し、果たされることになかった子規の思いをしのんでいきたい」と語った。（清水支局・栗原広樹）

①『仰臥漫録』に「午後左千夫来ル 文ノ低キ野菊ノ類ヲ横鉢ニ栽エタルヲ携へ来ル」とあり、清見瀉公園の句碑の近くにも野菊が移植されている。また、伊藤左千夫は後年『野菊の花』という名作を著した。「花」が文学に与えた一例を挙げ、その影響を考察せよ。

②伊藤左千夫は正岡子規の『歌よみに与ふる書』を読んで感化され、「牛飼が歌よむ時に世のなかの新しき歌大いにおこる」と詠んだ。伊藤左千夫はどのような「新しき歌」を目指したのか、考察せよ。

③伊藤左千夫は、正岡子規に対し「子規子の天品と子規子の精神と子規子の人格とは、予の絶対に信仰する所である。予が生のあらゆる限り此信仰は一里たりとも動くまじき事と信じて居る」と『碧梧桐氏に答へる』に書いている。ここまで一人の漢（おとこ）を信奉させた正岡子規の人生を、高校生の自由な発想で論述せよ。

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 実石克巳（静岡高校 教諭）

（高校／国語）

【参考】①＝国文学、植物学に関する問題、②＝国文学に関する問題、③＝国文学に関する問題